

令和3年度すみだ健康づくり総合計画中間改定検討部会

資料1

「親と子の健康部会」委員名簿

任期：令和3年5月20日～令和4年3月31日

令和3年4月1日現在

(敬称略)

分野	所属・役職名	氏名	備考
外部関係者	墨田区民生・児童委員協議会	さいとう まさき 齋藤 正樹	部会長
	墨田区医師会理事	なかばやし やすし 中林 靖	
	東京都助産師会墨田・台東地区分会	はた まり 秦 万理	
庁内関係者	本所保健センター所長	たきざわ としゆき 瀧澤 俊享	副部会長
	本所保健センター保健指導係長	むらやま あきこ 村山 朗子	事務局(補助)
	本所保健センター事業係栄養士	たなか ともこ 田中 友子	
	本所保健センター事業係歯科衛生士	かまた 鎌田 はるか	
	子育て支援課子育て計画担当主査	しみず ようへい 清水 洋平	
	子育て政策課児童館担当主査	うすき まさあき 臼杵 正昭	
	子育て支援総合センター子ども相談主査	たじま 田島 あゆみ	
	学務課給食保健・就学相談担当	ながしま しんご 長島 新吾	
	指導室指導主事	おくい しん 奥井 伸	

# すみだ健康づくり総合計画中間改定の概要

経緯

「すみだ健康づくり総合計画」は、健康課題や情勢の変化に合わせて令和2年度に改定を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、上位計画である墨田区基本計画の改定延期が決定し、その他計画についても同じく1年延期することになった。  
 今後、データヘルス等の推進に加え、感染症対策や災害対策の強化、新たな生活様式や働き方改革のさらなる推進の必要性、それらに対応する新保健施設（令和5年度開設）の整備等を踏まえると、計画のフルモデルチェンジが必要。令和2年度は庁内で課題を整理し、令和3年度に大幅な改定を行う。

## 現計画の概要

- 1 計画期間** 平成28年度から令和7年度までの10年間
- 2 計画の位置づけ**  
 国及び都の健康や医療に関する計画等を捉え、区の上位計画にあたる「墨田区基本構想」、「墨田区基本計画」の健康に関する施策及び基本的な考え方を踏まえながら、区民の健康づくりに関する最上位の計画としている。
- 3 現計画の体系**

**墨田区がめざす健康づくり**  
**健康寿命を大きく伸ばし 誰もが健康に暮らすまちをつくる**

**基本方針**

- ・区民が主役の健康づくり
- ・健康を支えあう地域づくり
- ・健康を実現できる環境づくり

**重点施策**

- A 生活習慣病発症予防の強化と重症化の予防をより進める区へ
- B 総合的ながん対策を強化する区へ
- C すべての親と子が切れ目ない母子保健サービスを受けられる区へ
- D 健康危機管理体制がより充実している区へ

**基本目標**

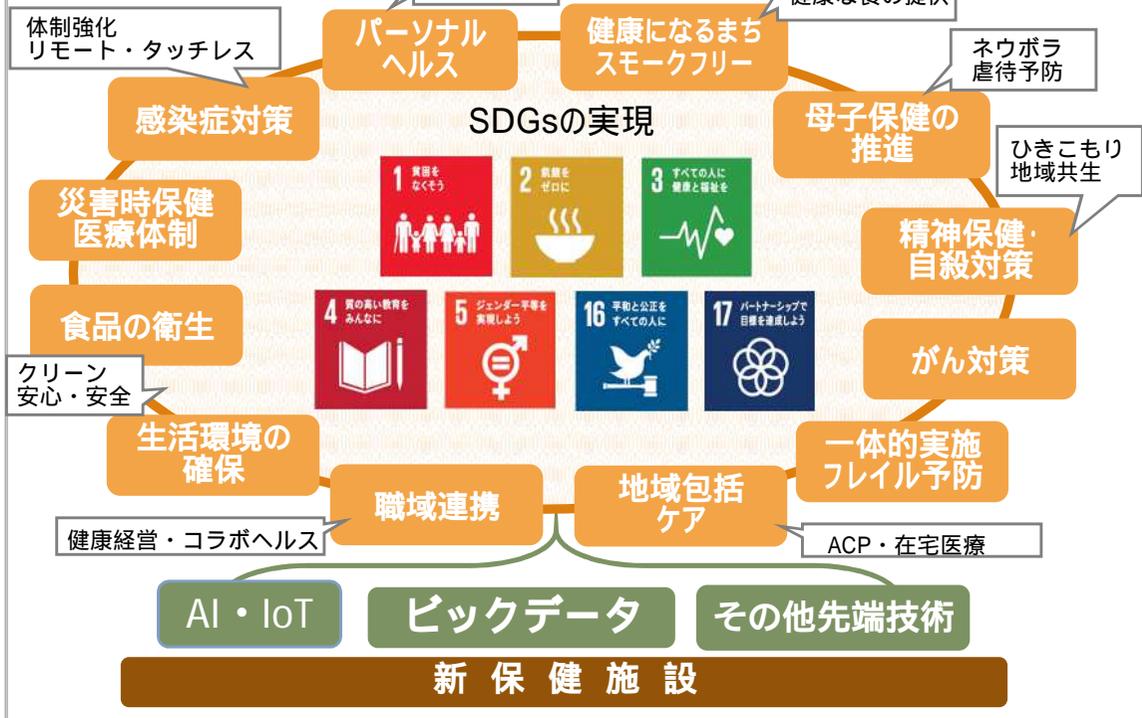
- 1 区民一人ひとりが健康づくりに取り組み、望ましい生活習慣をこころがけます
- 2 すべての親と子の切れ目ない健康づくりを支援します
- 3 だれもが主体的に健康づくりに取り組める地域をめざします
- 4 健康危機管理体制を充実し、保健衛生の安全と安心を確保します
- 5 保健医療体制を確立し、地域の連携を進めます

## 中間評価

令和元年度に区民アンケートを実施し、現計画の評価指標の見直しと中間評価を実施した

	全体	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5
改善	65歳健康寿命	2 2	3	2	3	0
不変	男性：81.88歳	1 5	1 0	1	6	4
	女性：85.48歳	1 6	2	6	2	0

## 改定のポイント



目標

健康寿命を延伸し、誰ひとり取り残さない「健康長寿日本一のまち・すみだ」を実現する

すみだ区健康づくり総合計画 施策の体系（修正案）

**墨田区がめざす健康づくり**

健康寿命を延ばし、誰ひとり取り残さない「健康長寿日本一のまち」を実現する。



3つの基本理念

- 区民が主役の健康づくり
- 健康を支えあう地域づくり
- 健康を実現できる環境づくり

3つの基本方針

- 科学的知見に基づく疾病予防・管理を推進する。
- 多様な知を集結し、健康課題を解消する新しい社会環境を整備する。
- 誰もが地域で活躍できる「インクルーシブ社会」を実現する。

基本目標

- I. ライフコースを意識した健康づくりの推進
  - 4 質の高い教育をみんなに
  - 8 働きがいも経済成長も
- II. 包括的な親と子の健康づくりの推進
  - 10 人や国の不平等をなくそう
  - 16 平和と公正をすべての人に
- III. 支えあい、自分らしく生きることができる地域づくり
  - 1 貧困をなくそう
  - 4 質の高い教育をみんなに
  - 5 ジェンダー平等を実現しよう
  - 11 住み続けられるまちづくりを
- IV. 安心・安全な保健・医療体制および健康を支援する地域環境の整備
  - 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
  - 12 つくる責任つかう責任
  - 13 気候変動に具体的な対策を

基本施策

- 生活習慣病の発症と重症化予防  
がん対策の推進  
健康的な食環境づくり  
身体活動・運動の推進  
歯・口腔の健康づくり  
休養・こころの健康づくり  
たばこ・アルコール対策の推進  
女性の健康づくり  
フレイル予防の推進
- 切れ目のない妊娠・出産・育児支援  
子どもの健やかな発育・発達支援  
安心して子育てできる保健医療体制の整備  
学童期・思春期からの健康づくり支援  
子育て世代包括支援体制の充実
- 地域包括ケアシステムの充実  
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築  
障害(児)者の健康づくり支援  
特殊疾病(難病)対策の推進  
自殺対策の推進  
すみだらしい食育の推進  
地域・職域連携の推進  
健康を支援するソーシャルキャピタルの醸成
- 健康危機管理体制の充実  
感染症対策の推進  
食品衛生の推進  
衛生的な生活環境の確保 / 公害対策の推進  
動物の適正管理の推進  
地域の保健・医療体制の整備  
健康なまちづくりに向けた環境整備

# 令和3年度すみだ健康づくり総合計画中間改定の検討組織

墨田区保健衛生協議会 附属機関

墨田区健康づくり推進本部 本部長：区長  
墨田区健康づくり推進本部幹事会  
幹事長：保健衛生担当部長

すみだ健康づくり総合計画中間改定部会  
部会長：帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授

作業部会  
「予防・健康」部会

生活習慣病対策、健康づくり、歯科、フレイル等

作業部会  
「親と子の健康」部会

母子保健、子どもの健康等

作業部会  
「地域共生・包括ケア」部会

障害福祉、地域包括ケアシステム、自殺対策、食育、地域づくり等

作業部会  
「健康に関する安全・安心」部会

健康危機管理、生活衛生、環境保全、施設整備等

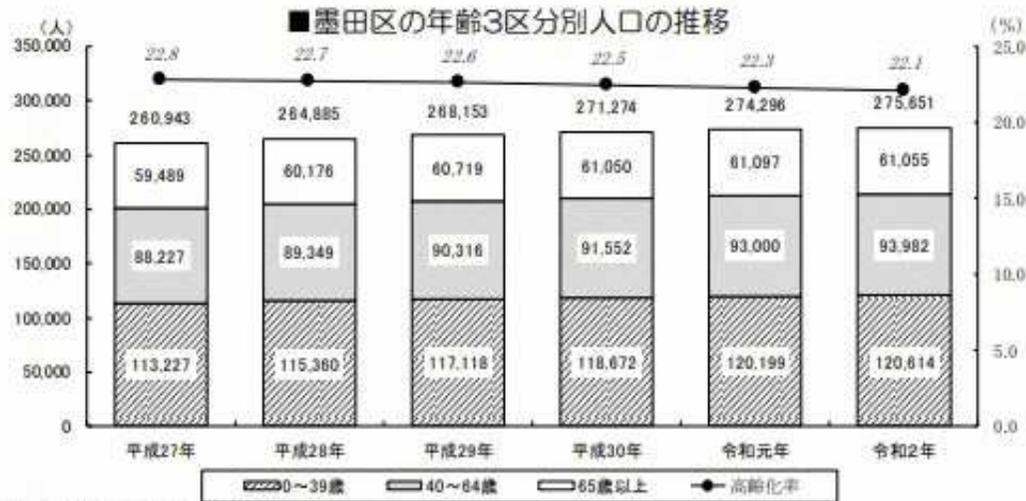
すみだ健康づくり総合計画中間改定スケジュール

		2021年										2022年		
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会	保健衛生						<input type="text"/>			<input type="text"/>				
	推進本部					幹事会 推進本 部会議			幹事会 推進本 部会議					
計画改定	全体	庁内検討会					協議会		<input type="text" value="素案"/>		議会 報告	<input type="text" value="パブコメ"/> →	協議会	議会報告
	計画改定部会	計画改定部 (3/19)						計画改定 部会					計画改定 部会	
	予防・健康部会			<input type="text" value="5/13"/>		<input type="text"/>								
	親と子の 健康部会			<input type="text" value="5/20"/>		<input type="text"/>								
	地域共生・包括 ケア部会			<input type="text" value="5/6"/>		<input type="text"/>								
	健康に関する 安全・安心部会			<input type="text" value="5/19"/>		<input type="text"/>								
	区民ワーク ショップ					参加者募集 →	<input type="text"/>	<input type="text"/>						

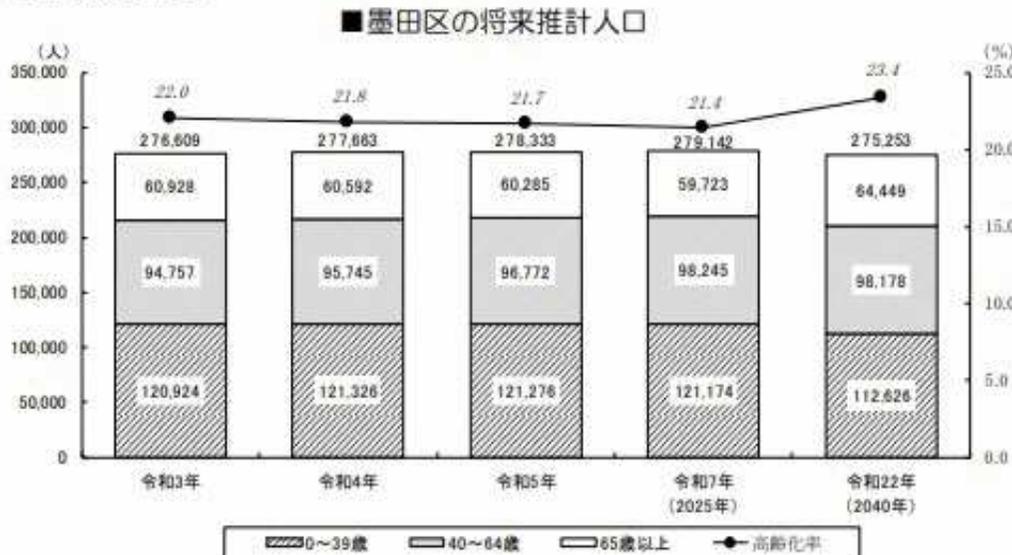
# 墨田区の状況と 基本目標 に係る課題

第1回 作業部会

# 年齢3区分別人口の推移と将来推計人口



(注) 各年10月1日である。  
資料：墨田区住民基本台帳



資料：墨田区住民基本台帳に基づく独自の推計

令和2年10月1日現在  
275,651人で、平成27年  
に比べて14,708人、**5.6%**  
**増加**しています。そのう  
ち、65歳以上の高齢者人  
口は61,055人で、**高齢化**  
**率は22.1%**となっていま  
す。

**将来推計人口は微増**しま  
すが、国内で高齢者が最  
も多くなると想定される  
**令和22年には、高齢化率**  
**は23.4%まで増加**すると  
予想されています。

## 世帯状況

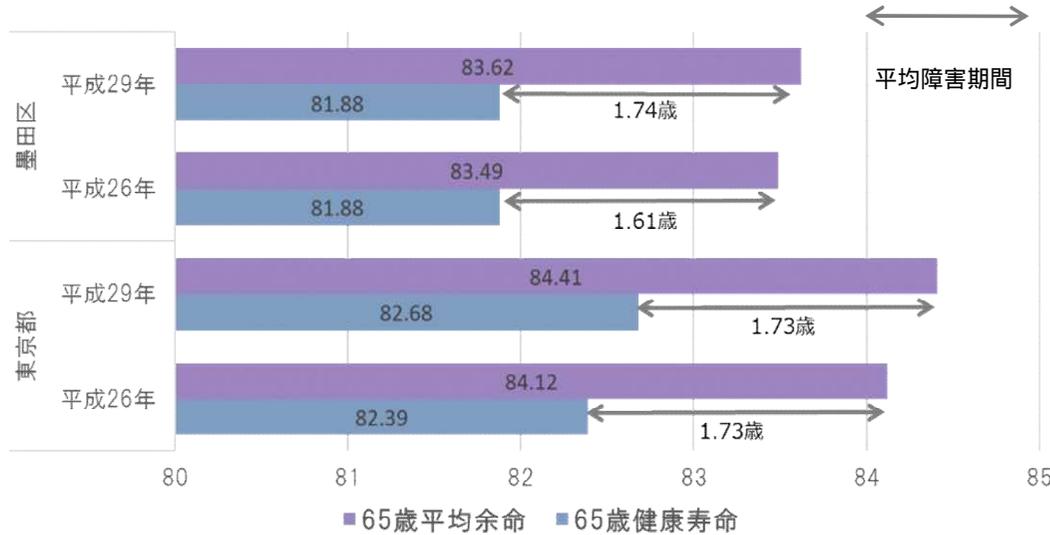
家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が33.8%で最も多く、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(3.4%)と回答した人も含めると、「夫婦2人暮らし」が37.2%を占めており、次いで「1人暮らし」が26.2%、「息子・娘との2世帯」が16.5%となっています。

(単位：世帯)

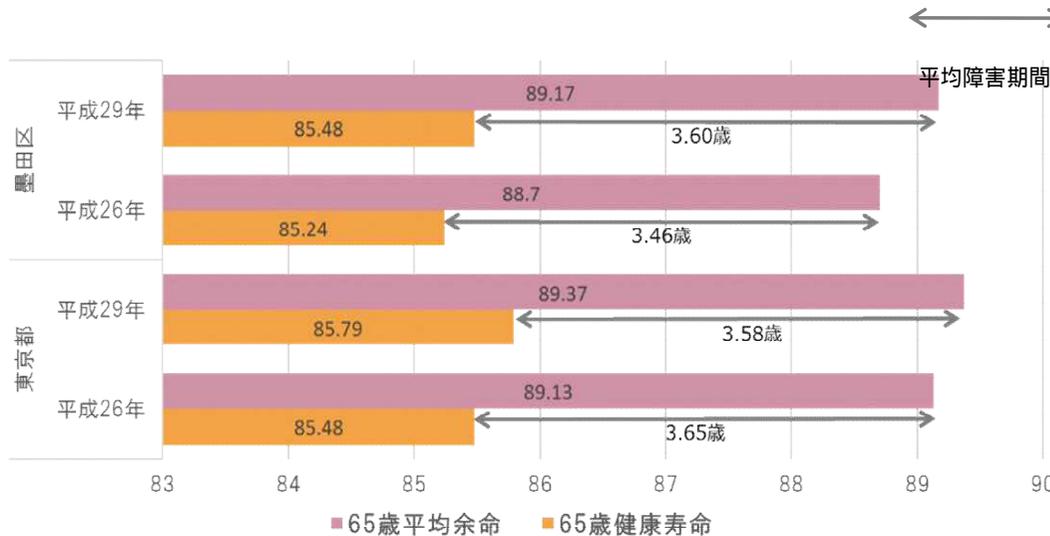
区分	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
一般世帯数	93,583	107,245	120,504	130,678
高齢者のいる一般世帯数	28,638	33,716	37,565	41,161
高齢単身世帯数	7,752	10,626	12,590	15,257
高齢夫婦世帯数	7,415	8,663	9,230	10,141
その他の世帯数	13,471	14,427	15,745	15,763
一般世帯数に占める高齢者のいる一般世帯数の割合	30.6%	31.4%	31.2%	31.5%
高齢者のいる一般世帯数に占める高齢単身世帯数の割合	27.1%	31.5%	33.5%	37.1%

資料：総務省「国勢調査報告」

# 65歳健康寿命



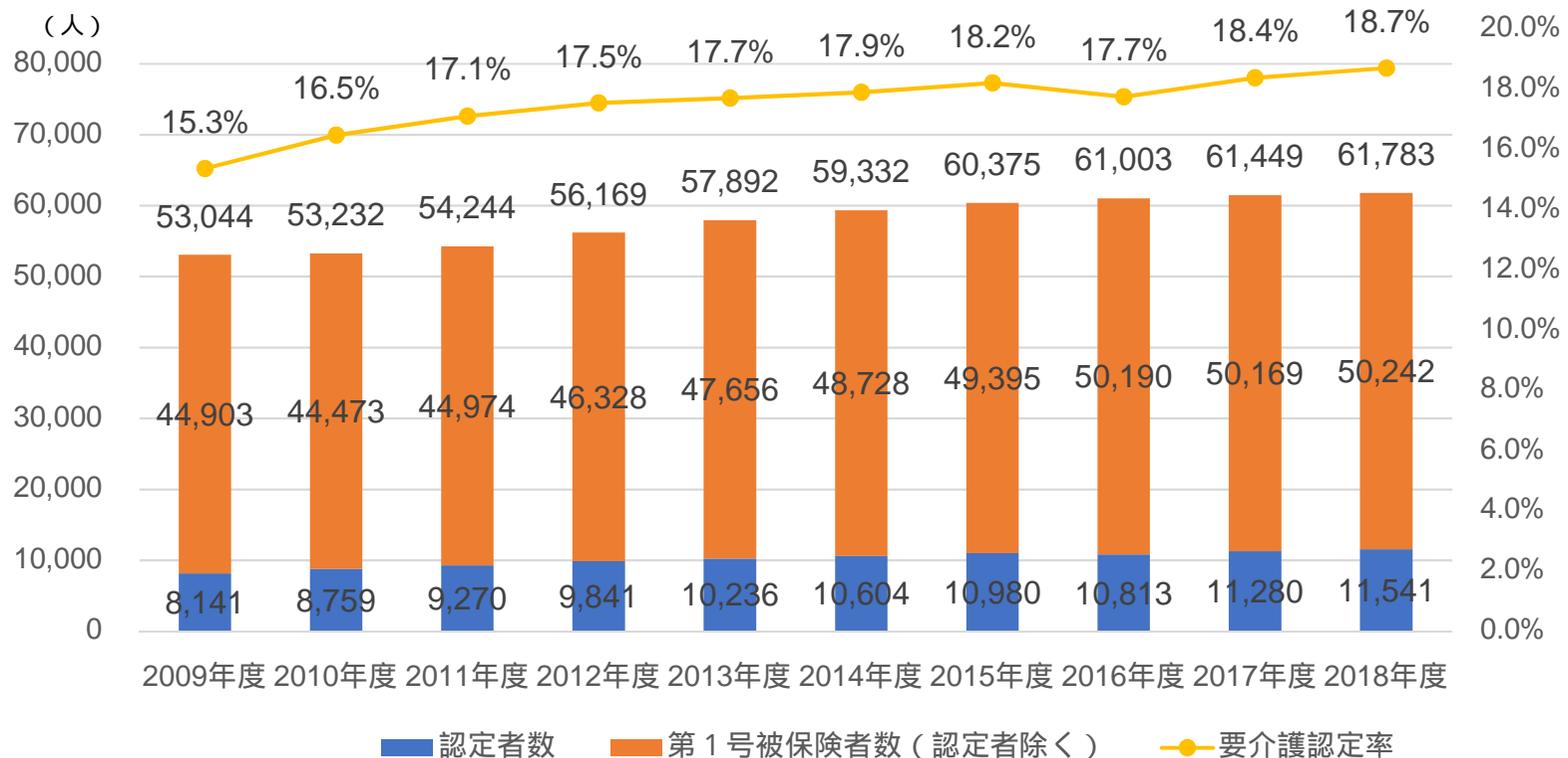
65歳健康寿命は、**男性は81.88歳**と不変で、**女性は85.48歳**と0.24歳延伸していました。  
 しかし、65歳平均余命との差である「**平均障害期間**」は、**男性は0.13歳**、**女性は0.14歳**伸びています。



65歳平均余命：65歳の人  
 が、平均してあと何年生きられるかの期待値。

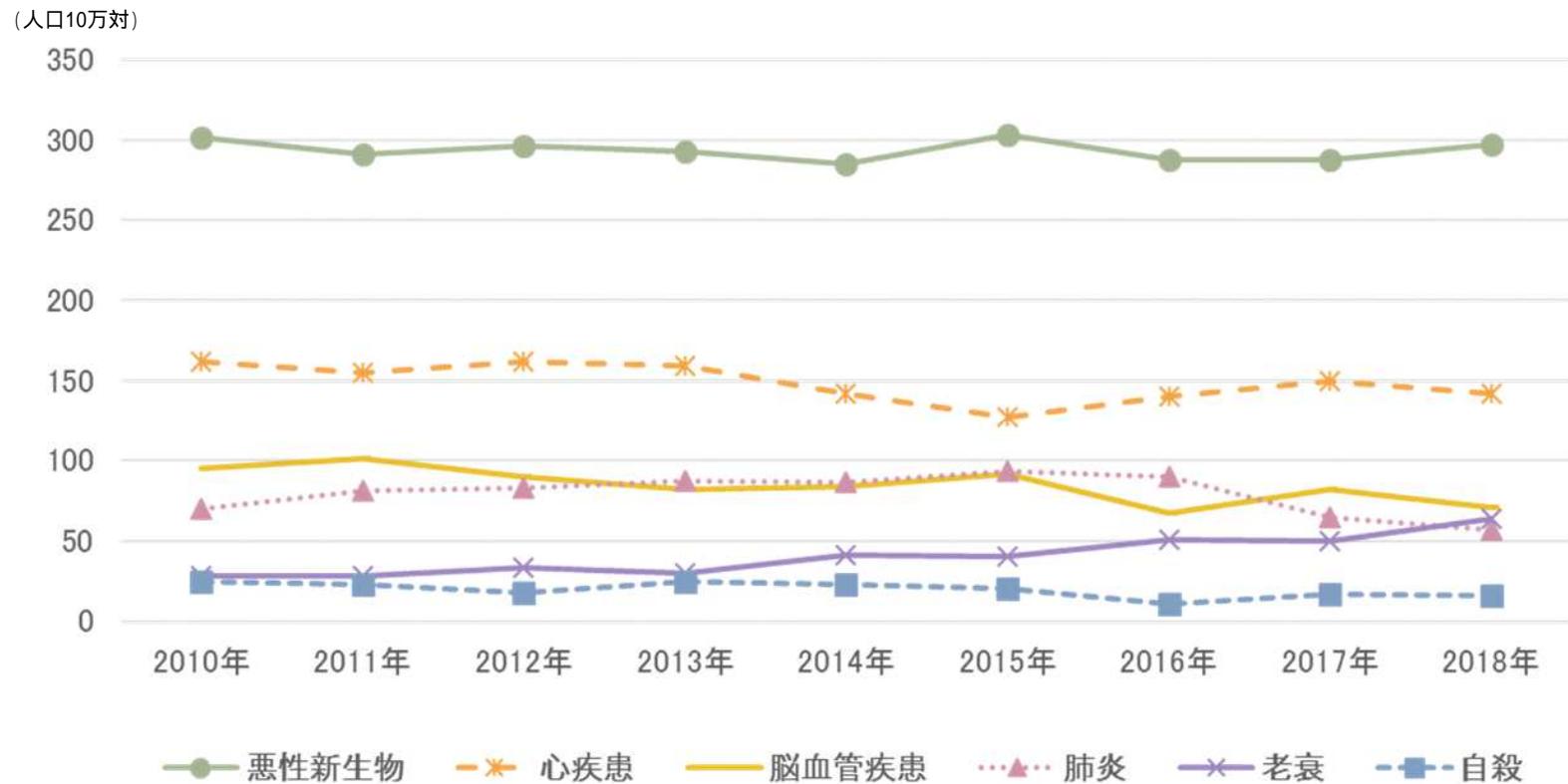
## 要介護認定者数

要介護（要支援）認定者数は年々増加しています。  
要介護（要支援）認定率も増加傾向にあり、2018年は18.7%と、**約6人に1人が要介護（要支援）認定を受けています。**



## 主要死因別死亡率

悪性新生物が特に高く、自殺、脳血管疾患は緩やかな減少傾向、老衰は増加傾向にあります。

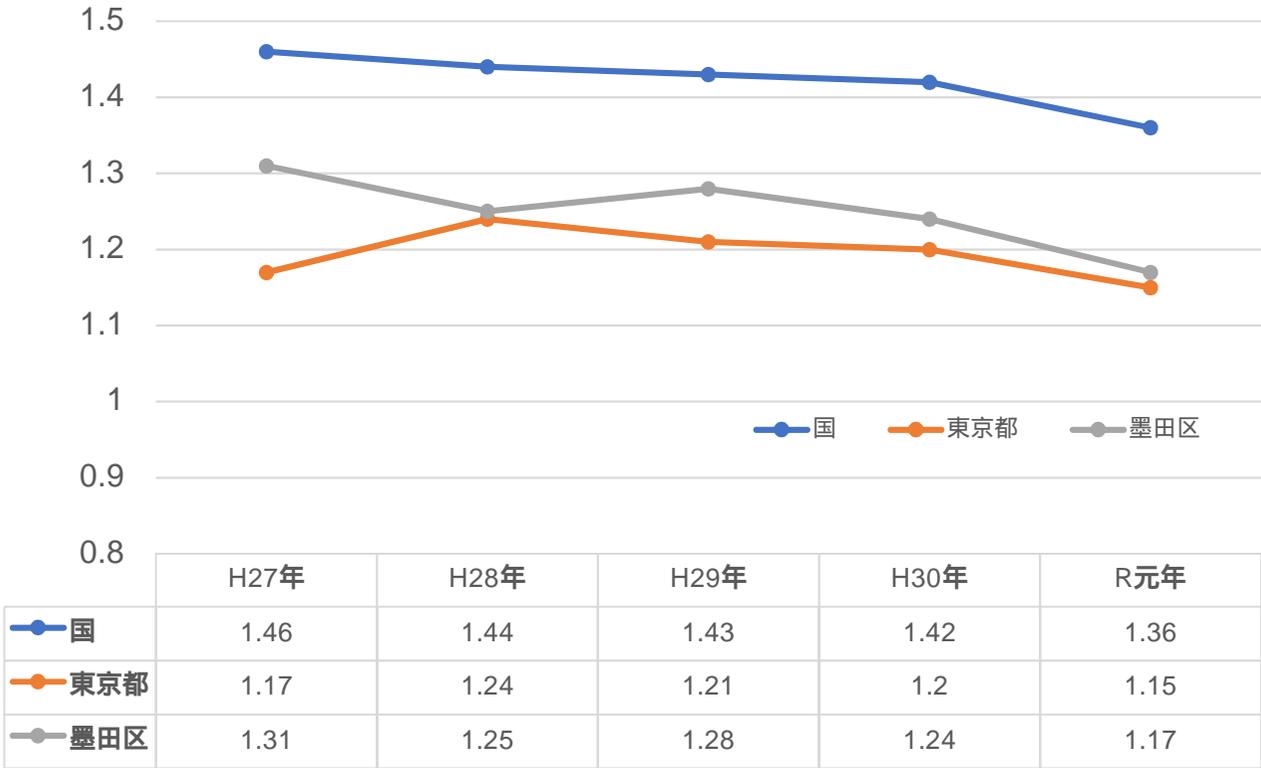


出典：墨田区保健計画課資料

## 切れ目のない妊娠・出産・育児支援

合計特殊出生率は平成29年から減少に転じています。

### 合計特殊出生率の推移（国・東京都・墨田区）

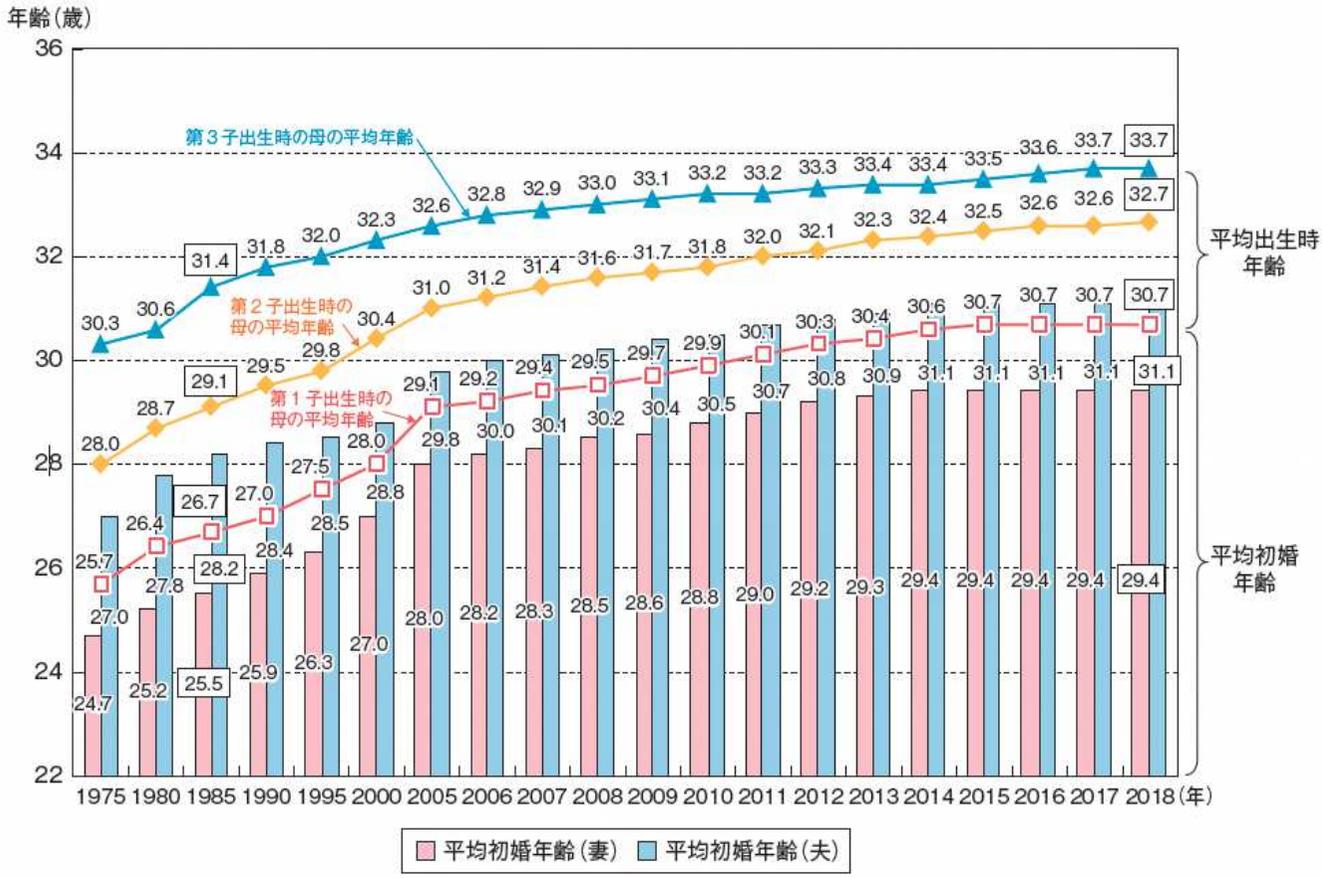


出典：墨田区の福祉・保健

# 切れ目のない妊娠・出産・育児支援

女性の出産年齢は年々上昇しています。社会的な役割をもちながら出産・子育てする割合も増えており、家庭や地域のサポートが必要です。

## 平均出産時年齢（全国）

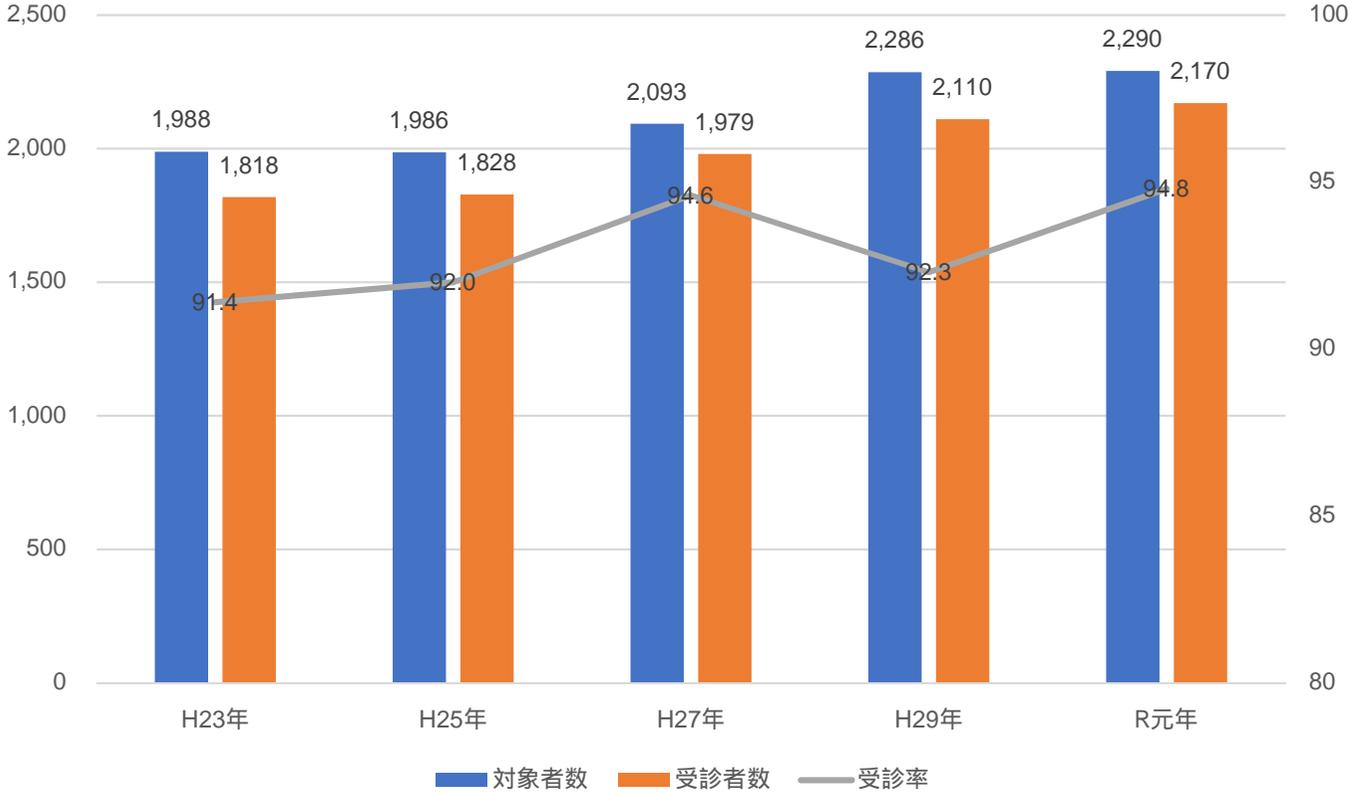


出典：厚生労働省「人口動態統計」

## 子どもの健やかな発育・発達支援

乳幼児健診の受診率は比較的高めで、90%台で推移しています。

### 1歳6か月健診の受診率

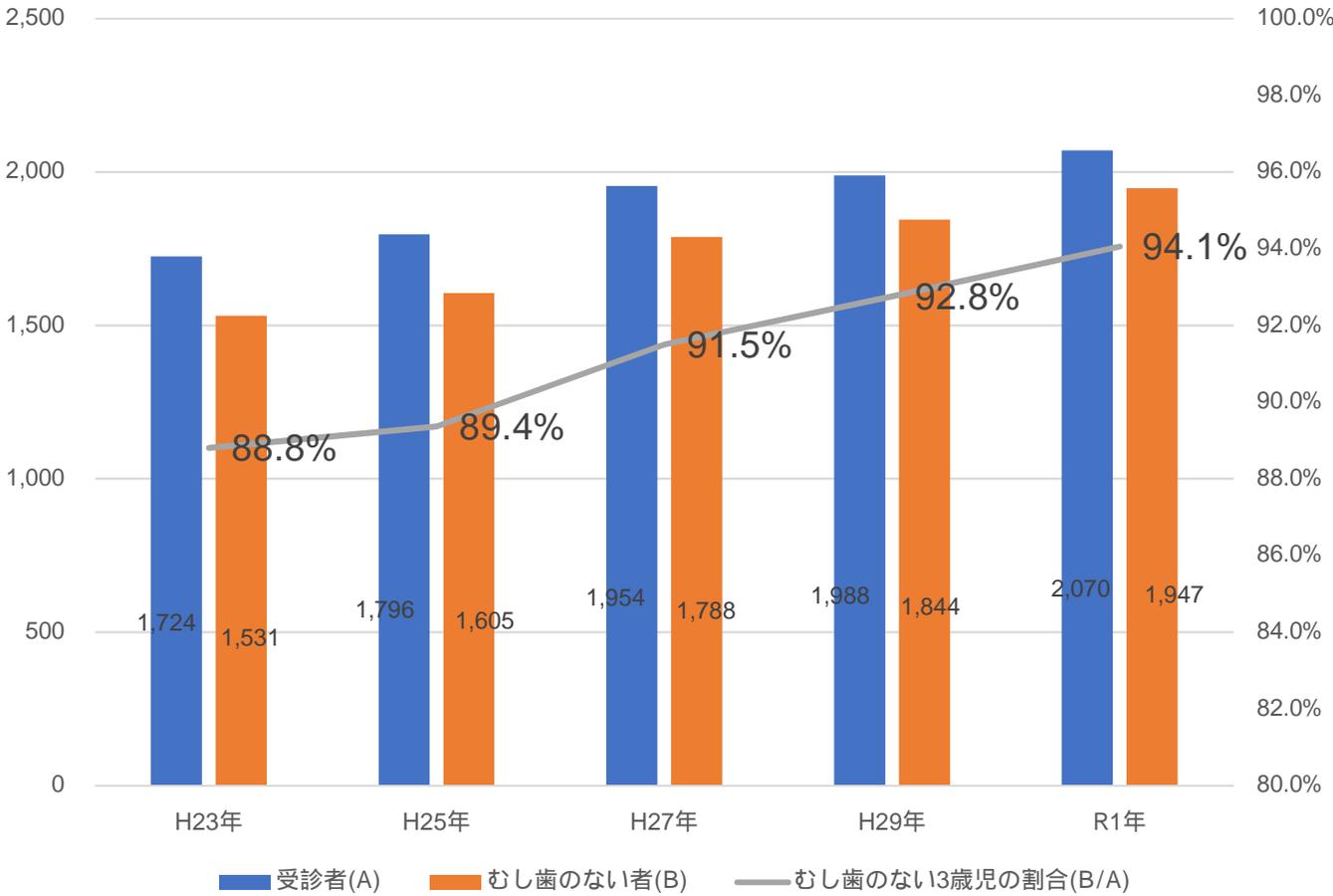


出典：墨田区の福祉・保健（各年度）

# 子どもの健やかな発育・発達支援

むし歯のない割合は増加傾向にあります。

## むし歯のない13歳児の割合



出典：墨田区の福祉・保健（各年度）

## 安心して子育てできる保健医療体制の整備

墨田区の平日夜間救急や休日応急診療の認知度が下がっています。  
平成26年は62.9%でしたが、令和元年の調査では56.1%でした。

### 平日夜間救急・休日応急診療の認知度

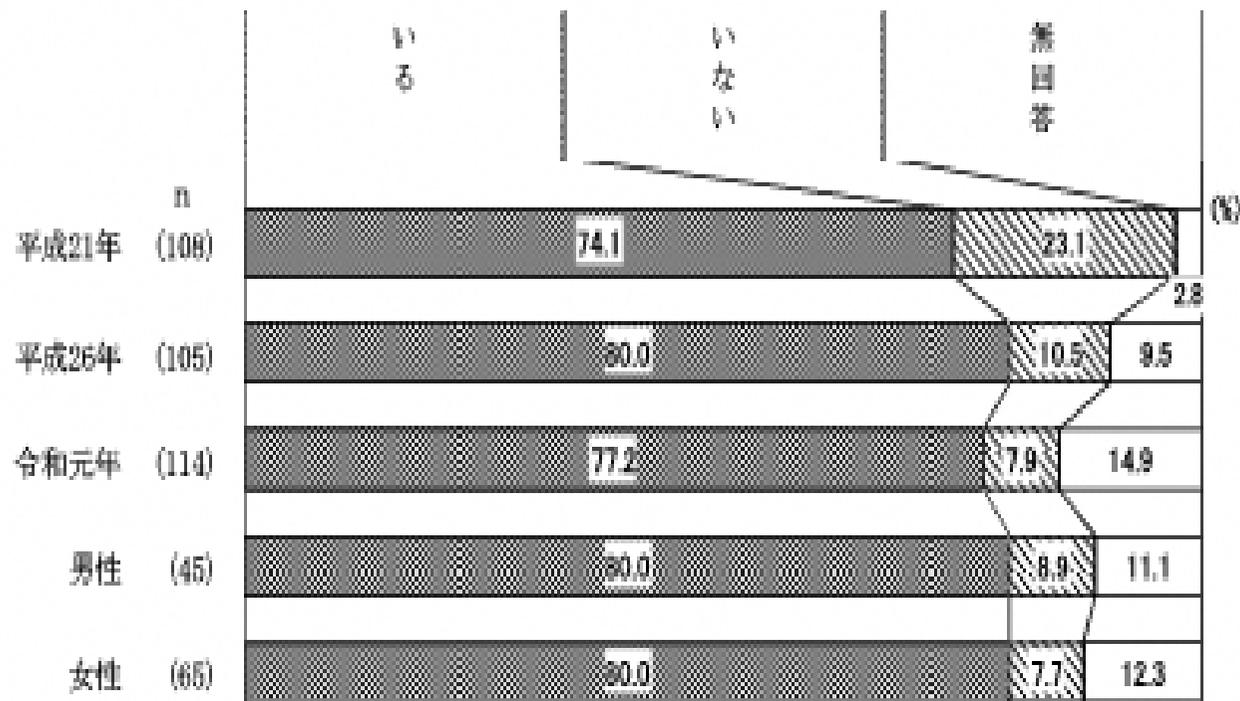


出典：健康に関する区民アンケート（令和元年度）

## 安心して子育てできる保健医療体制の整備

子どものかかりつけ医がいる割合は77.2%で、同程度の割合で推移しています。

### 子どものかかりつけ医の有無の経変推移

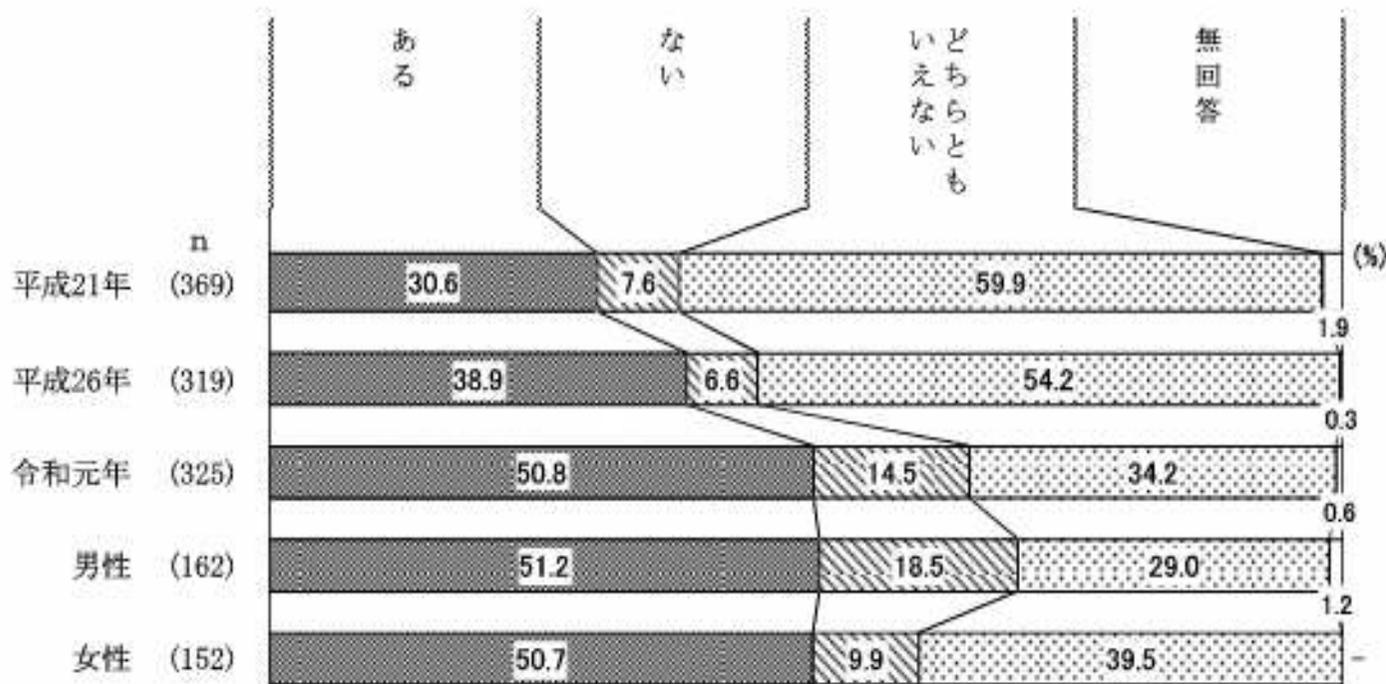


出典：健康に関する区民アンケート（令和元年度）

## 学童期・思春期からの健康づくり支援

自分の健康に関心がある区内の生徒の割合は増えており、平成26年が38.9%でしたが、令和元年は50.8%でした。  
男子学生の方が、自分の健康への関心がないと答える割合が高い状況です。

### 自分の健康への関心の有無

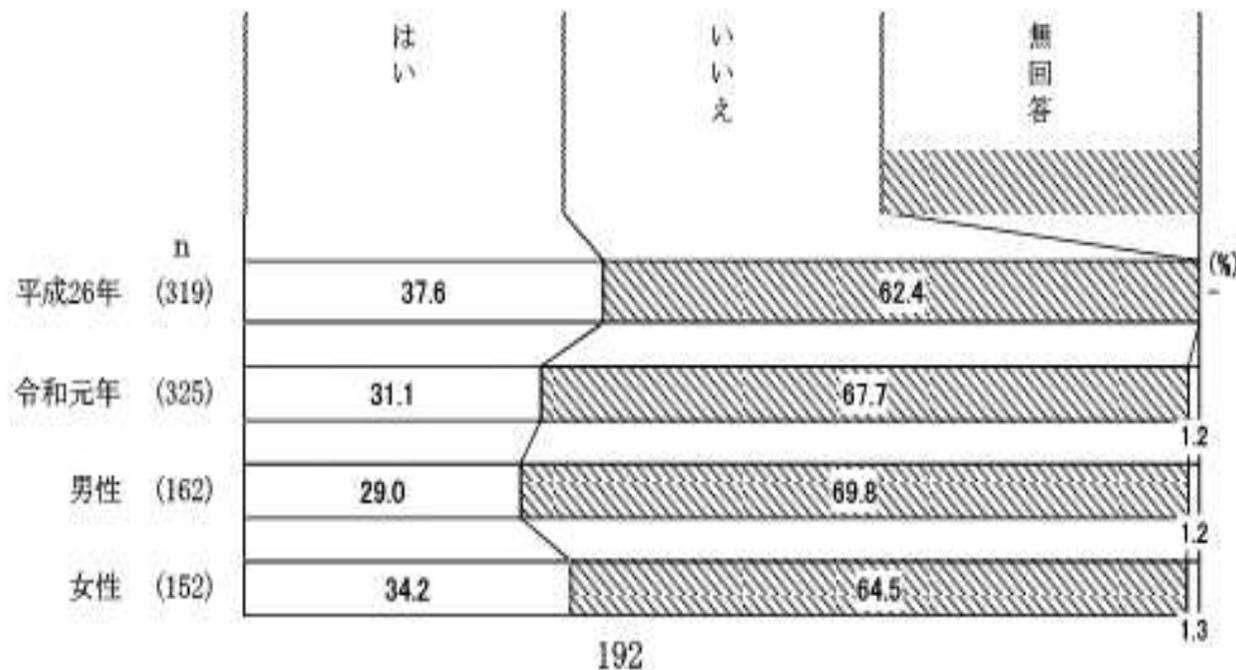


出典：健康に関する区民アンケート（令和元年度）

## 学童期・思春期からの健康づくり支援

保健センターでこころや体の健康に関する認知は、31.1%で平成26年度と比較すると、減少傾向が見られます。

### 保健センターで相談できることの認知度



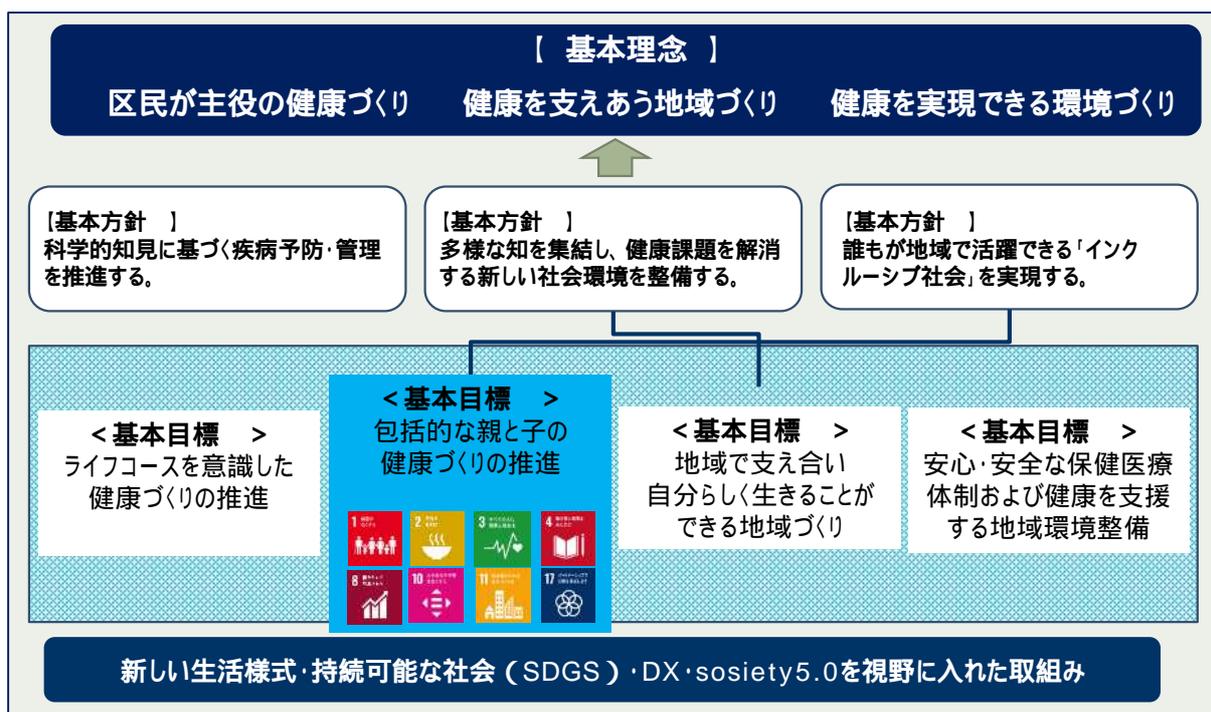
出典：健康に関する区民アンケート（令和元年度）

# 基本目標

## 包括的な親と子の健康づくり支援

### 視点

地域の宝である子どもが健やかに育つよう、妊娠・出産から切れ目なく親と子の健康づくりを包括的に支援する体制を整備します。



## 1

## 基本目標 と SDGs の取り組み

未来を見据えた持続可能な地域社会をつくるうえで、子どもが健やかに成長できる環境は欠かせません。「包括的な親と子の健康づくり」の推進・達成は、SDGs の6つの目標と関連しています。SDGs の目標とターゲットを意識しながら推進することで、持続可能な社会を目指します。

SDGs 項目	SDGs の Goal とターゲットおよび本計画における取り組みの方向性	基本目標 施策番号
	【3-1、3-2、3-8】すべての人に健康と福祉を 妊産婦や乳幼児を含む全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進できるように、すべての人が保健医療サービスを利用できる体制を目指します。	全共通
	【4-7】質の高い教育をみんなに 全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、必要な知識や技能を習得し、官民連携しながら持続可能な社会づくりに取り組みます。	全共通
	【10-4】人や国の不平等をなくそう 少数意見を吸い上げつつ、社会保障政策をはじめとする政策を導入し、不公平・不平等のないまちづくりに取り組みます。	-
	【11-7】住み続けられるまちづくりを 包摂的で、安全な、レジリエント（強じんさ、回復力）で持続可能なまちづくりを進めるため、公共スペース等への普遍的なアクセスができる環境づくりをすすめます。	-、
	【16-2】平和と公正をすべての人に 子供に対する虐待などあらゆる形態の暴力をなくす取り組みをすすめます。	-
	【17-17】パートナーシップで目標を達成しよう 公的/民間セクター、市民、NGO/NPO 等の多くの関係者との協力関係を築き、パートナーシップを活性化して目標達成に取り組みます。	全共通

### 切れ目のない妊娠・出産・育児支援

区では、安心して子どもを産み、健やかに子どもを育てるための取組を充実させ、支援を必要とする人にはサポートできる体制づくりを推進しています。特に、妊娠・出産の時期は母体の変化があり、更に女性の出産年齢や社会生活の幅が広がっていることで、出産や育児への多様な不安や悩みを抱えがちです。そこで、平成27年度から「ゆりかご・すみだ事業」として専門職による妊婦への面接や産後ケア事業等を実施しています。引き続き、切れ目のない妊娠・出産・育児支援といわれている「ネウボラ」をイメージしたパーソナルな支援体制を推進していきます。

#### (1) 墨田区の現状・課題

女性の出産年齢は年々上昇しています。社会的な役割をもちながら出産・子育てする上で、家庭や地域のサポートが欠かせません。また、出産準備クラスや育児学級の利用率は増加傾向にあります。その背景として、相談できる仲間を作りづらい環境があること等が考えられるため、他の関連計画も含めて総合的な対策を検討する必要があります。

一方、区の妊婦の喫煙率や飲酒率は下げ止まりの傾向にあります。妊娠中の喫煙率や飲酒率が上昇しないよう、対象の妊婦への個別保健指導等は引き続き実施をし、妊娠の継続や胎児へのリスクをわかりやすく伝えていく必要があります。

#### (2) 区民・関係者・区が取り組む実践アクション

区民の主体的な活動に加え、関係機関・団体、行政がそれぞれの役割と責任を果たしながら、互いに協力し連携を図りながら、取り組みを推進していきます。

	内容
区民の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来の妊娠・出産に備えて適正な体重を維持します。また、日ごろから喫煙は避け、飲酒は適量を心がけます。</li> <li>・ 妊娠・出産・育児に関する不安や悩みがある場合は、身近な人に相談したり、相談機関を利用したりします。</li> <li>・ 妊娠中は自身の健康状態を把握するために妊婦健康診査や妊婦歯科健診を受診します。</li> </ul>
地域・関係機関・企業の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妊産婦のサポートをします。</li> <li>・ 乳幼児の育児サポートをします。</li> <li>・ 事業所は、ワークライフバランスに取り組み、父親の育児参加を支援します。</li> </ul>

	内容
区での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妊婦健診や妊産婦歯科健診、乳幼児健診等の受診を促します。また、健診結果をもとに専門職による保健指導を実施します。</li> <li>・ 妊娠・出産・育児に関する知識の習得や互いの交流を図り、地域での孤立を防止します。</li> <li>・ パパのための出産準備クラス等、父親の育児参加を推進します。</li> <li>・ 成育基本法に基づき、妊娠から出産、子育て期にわたるまでの子育て世帯への切れ目のない支援に取り組みます。</li> </ul>

### ( 3 ) 主な施策

施策の項目
● 出産・子育て応援事業の実施
● 妊婦健診・妊産婦歯科健診の実施
● 出産準備クラス・パパのための出産準備クラスの実施
● 新生児訪問指導（こんにちは赤ちゃん訪問事業）の推進
● 子育て相談の場の充実
● 産後ケア事業の実施

### ( 4 ) 評価指標

指標	目標値	ベースライン値	現状値
妊娠 11 週以下での妊娠の届出率	増加	91.2%	94.3%
妊娠中の喫煙率	0%	1.6%	1.6%
妊娠中の飲酒率	0%	2.0%	1.5%
出産準備クラス、育児学級の利用率	60%	38.2%	42.8%
産後、退院してからの 1 か月程度助産師や保健師等からの、指導・ケアを十分に受けることができた割合	増加	81.7%	82.5%
こんにちは赤ちゃん ( 生後 120 日以内の乳児訪問 ) 率	98%	88.1% ( 94.9% ) ( ) は中間値と同じ方法で計算した値	96.5%



## 子どもの健やかな発育・発達支援

区では、子どもを安心して育てるために、家庭、地域、医療、学校等と連携し、地域ぐるみの子育て支援の取り組みを推進しています。一方で、核家族化や地域関係の希薄化などが進む中、子育て世代の孤立化に伴う課題や不安に対応するには、寄り添い、予防的な視点での関わりの拡充が求められます。

地域全体で親子の健やかな成長を見守り、虐待の早期発見に取り組めるよう、地域に密着した総合的な支援対策に取り組み、子どもの健やかな成長を支援する取組を推進します。

### (1) 墨田区の現状・課題

乳幼児健診の受診率は比較的高めですが、心身ともに調子が良い母親の割合は、68.4%です。区の子どもの健やかな発達・成長を促すために、保護者の育児不安を軽減し、親子が安心して暮らせる地域づくりを進めていく必要があります。

また、乳幼児期の発達・発育、療育の状況がその後の成長に生かされるよう、国が推進するDXの取り組み等を捉え、環境の変化に合わせた新たな子育て支援の仕組みづくりを推進します。

### (2) 区民・関係者・区が取り組む実践アクション

	内容
区民の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育児に不安がある時は、ひとりで悩まず、身近な人や相談機関に相談をします。</li> <li>・ 乳幼児健診を受診して子どもの発育状態を把握するとともに、専門的なアドバイス等を受けます。</li> <li>・ 区内の子育て支援拠点等を積極的に利用する等して、他の親子との交流する機会を作ります。</li> </ul>
地域・関係機関・企業の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳幼児の育児サポートをします。</li> <li>・ 子どもが安心・安全に育つよう、見守り、支援します。</li> <li>・ 保育園や幼稚園、小学校、中学校と連携を図り、健康な食について啓発活動を行います。</li> </ul>
区の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関と連携し、子育て支援サービス等の情報を提供します。</li> <li>・ 各種健診・検査を実施し、子どもの発育・発達を支援します。</li> <li>・ 国が推進するDXの取り組み等を捉え、乳幼児期や学童期の健康情報を活用しながら、環境の変化に合わせた新たな子育て支援の仕組みづくりを推進します。</li> <li>・ 新保健センターに併設される子育て支援総合センターを拠点にした虐待防止対策の取り組みを推進します。</li> </ul>

### (3) 主な施策

施策の項目
● 乳幼児健康診査の実施
● 療育事業・療育相談の充実
● 新生児聴覚検査の実施
● 虐待防止に向けた啓発活動の推進
● 母子保健分野におけるデータヘルスの推進
● 養育支援事業の充実

### (4) 評価指標

指標		目標値	ベースライン 値	現状値
心身ともに調子が良い母親の割合	1歳6か月児の 母	増加	70.1%	68.4%
1歳半健診受診率				
むし歯のない3歳児の割合				

## 安心して子育てできる保健医療体制の整備

親と子の健康づくりを進めていくため、訪問指導、子育て相談、健康診査等を充実させ、疾病等の早期発見、早期対応を図るとともに、保健・医療・福祉が連携して地域の保健医療体制の充実を進めてきました。

地域で安心して子育てでき、愛着を持って暮らせるよう、各関係機関との連携を深め、身近な地域で安心して医療を受けることができる保健医療体制の拡充を図るとともに、新保健施設等を活用した新たな支援体制を整備していく必要があります。

### (1) 墨田区の現状・課題

区内の平日夜間救急や休日応急診療の認知度が下がっています。区内の医療資源の変化（休日も通常診療を行う医療機関が増えるなど）の影響もあると考えられますが、区が実施する事業を知ってもらうだけでなく、いざという時の備えがなされるよう働きかけていく必要があります。

### (2) 区民・関係者・区が取り組む実践アクション

	内容
区民の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どものかかりつけ医を持ち、予防接種や健康管理に努めます。</li> <li>平日夜間や休日応急診療に対応する医療機関等について、いざという時に備えて情報収集を心がけます。</li> </ul>
地域・関係機関・企業の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じてサポートができるように体制を整備します。</li> <li>子どもが楽しく遊べるように、集いの場を提供します。</li> </ul>
区の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児予防接種の充実を図ります。</li> <li>平日夜間や休日応急診療を実施するとともに、対応可能な医療機関等も含めて、区内の医療体制の情報を提供します。</li> <li>医療的ケア児と保護者について、個々の状況に合わせて、地域の医療体制の調整などを行い、在宅生活の支援を行います。</li> </ul>

### (3) 主な施策

施策の項目
● 小児予防接種の充実
● 周産期保健医療ネットワークシステムの強化
● 小児初期救急平日夜間診療事業の充実
● 医療的ケア児と家族への支援
● 新保健施設等複合施設の整備（再掲）

(4) 評価指標

指標		目標値	ベースライン値	現状値
すみだ平日夜間救急こどもクリニックと墨田区休日応急診療所どちらも知っている割合	6～19歳の子どもがいる人	80%	62.9%	56.1%
子どものかかりつけ医を持つ割合	6～19歳の子どもがいる人	90%	80.0%	77.2%

## 学童期・思春期からの健康づくり支援

区では、子どもたちの正しい生活習慣の確立や、学童期・思春期・青年期に不安や悩みを抱え込まないように取り組みを推進してきました。さらに子どもたちが正しい知識を持ち、健全な生活習慣を身に付け、生涯にわたり健康的な生活が送れるよう、地域や学校保健と連携した取り組みを推進します。

### (1) 区の現状・課題

自分の健康に関心がある区内の生徒の割合は増えている一方で、スポーツをする児童・生徒の割合は都の平均よりも低くなっています。学童期・思春期から運動・スポーツを習慣化して、自身の健康づくりに主体的に取り組むことへの支援をしていく必要があります。

また、区の中学生の「保健センターで相談できること」の認知度が下がっています。児童や生徒が困ったときの身近な相談先について、健康教育の機会等を通じて啓発していく必要があります。

### (2) 区民・関係者・区が取り組む実践アクション

	内容
区民の取り組み	・ からだや心の不安や悩みがある場合は、身近な人に相談したり、相談機関を利用したりします。
地域・関係機関・企業の取り組み	・ 学童期・思春期の子どもたちの健康づくりをサポートします。
区の取り組み	・ 保育園、幼稚園、学校等と連携して、食育活動や健康教育等の啓発活動を行います。 ・ 子どもや保護者が気軽に相談できる場づくりや情報提供を行います。

### (3) 主な施策

施策の項目
● 小児期からの望ましい生活習慣習得の推進
● 保育園、幼稚園、学校等における食育活動の推進
● がん教育の実施
● エイズ・性感染症予防に対する知識の普及
● 「SOS の出し方教育」の実施
● 思春期相談の充実

( 4 ) 評価指標

指標		目標値	ベースライン 値	現状値
保健センターで、こころや体の健康に関する相談ができることの認知度	中学生	50%	37.6%	31.1%
自分の健康への関心度	中学生	60%	38.9%	50.8%
1日に60分以上運動・スポーツをする児童・生徒の割合	小学5年生男子	増加	69.1%	68.1%
	女子		48.7%	50.8%
	中学2年生男子		78.1%	77.5%
	女子		58.2%	55.5%

## 令和3年度「第1回親と子の健康部会」 ご意見・ご質問シート

本日は、すみだ健康づくり総合計画中間改定検討部会「親と子の健康部会」にご出席いただき、誠にありがとうございました。

ご発言いただけなかったご意見やご質問などがございましたら、以下にご記入いただき、お手数ですが、**6月4日(金)までに**、下記事務局へFAXまたはメールでお送りください。

**お名前**

区の状況・基本目標 の課題・考え方について

基本目標 ・基本施策の方向性について

その他